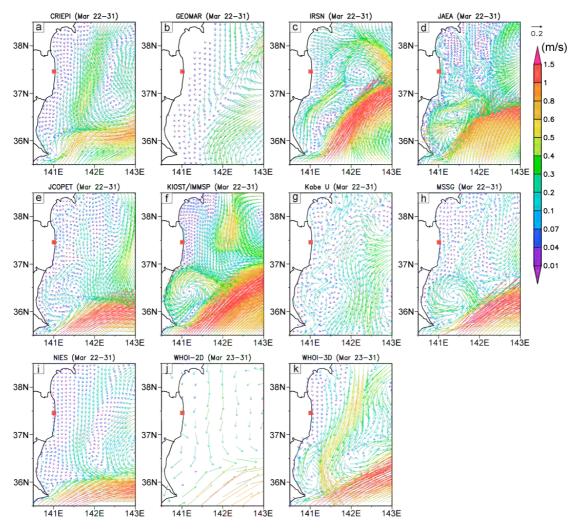
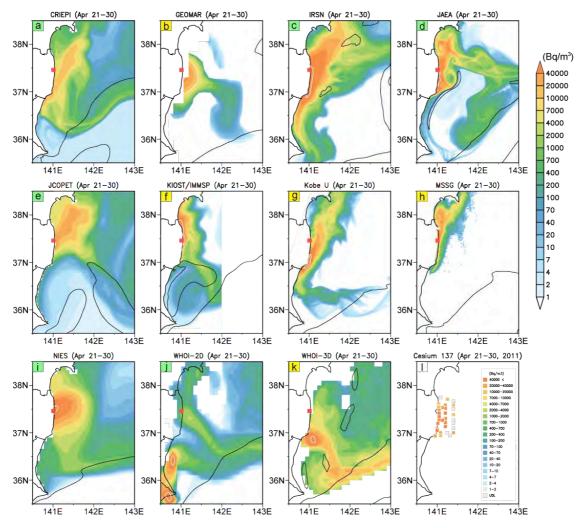


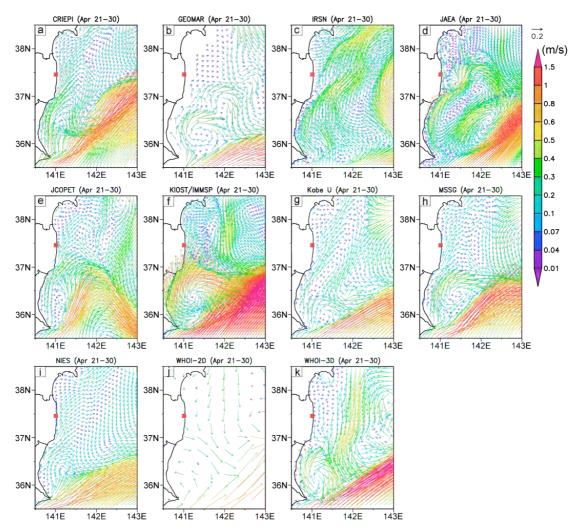
付録 図 5.4 (a)-(k) 2011 年 3 月 22 日から 31 日の 10 日平均した海面での ¹³⁷Cs 濃度の空間分布。各モデル名はそれぞれの図の上部に記載。赤四角印は第一原発の所在を表す。黒実線は海面流速の大きさが毎秒 0.5 m を超えた領域を示しており、黒潮やほかの主だった流れの境界を表す。各パネルを表すアルファベットの背景が緑(黄)のものは大気降下の影響を考慮した(考慮していない)モデルであることを示す。(I)同じ期間に得られたモニタリング観測による ¹³⁷Cs 濃度分布。



付録 図 5.5 (a)-(k) 2011 年 3 月 22 日から 31 日の 10 日平均した海面流速分布。各モデル 名はそれぞれの図の上部に記載。赤四角印は第一原発の所在を表す。WHOI-2D は人工衛星から観測された海面高度データを用いて地衡流計算により得られた分布。GEOMAR モデルは 1993 年の ECMWF 客観解析データを外力として用いており、2011 年の海洋の状況に近い場が再現されている (Dietze and Kriest, 2012) [25]。



付録 図 5.6 図 5.4 と同様。ただし、2011 年 4 月 21 日から 30 日の 10 日平均分布を示す。



付録 図 5.7 図 5.5 と同様。ただし、2011 年 4 月 21 日から 30 日の 10 日平均分布を示す。